

JB Customer Report

ORPHIS FW

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介いたします！

取材：営業部 営業企画推進課

朝日まちづくり協議会様

朝日まちづくり協議会様に、2017年6月に導入したFW5230について活用方法などのお話を伺いました。

カラー印刷で、地域の様子を分かりやすく伝えています！

朝日まちづくり協議会では、「住んで良かった、住みたい個性あるまち朝日」を創造するために、道路などのインフラ整備、教育・福祉・医療などの行政サービスの充実だけでなく、助け合いなどの地域交流、地域の特性を活かした魅力づくりや住民一人ひとりが「住んでよかったです」と実感できる環境づくりを目指しています。



そのために、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現、時代やニーズに応じたまちづくりを進めるために、地域の活動を伝える広報誌、「まち協あさひ」を2～3ヶ月に1回発行しています。A3両面の計4ページと時々A4両面の印刷を差したりします。各家庭に配布するとおよそ1回で600枚程度の印刷になりますので、広報誌だけでも1年間に2,400枚以上は発行・配布していることになりますね。大量印刷をカラーで高速に印刷するために利用しているのがORPHISです。とにかく印刷スピードが速く、広報誌以外にもチラシ・案内など地域の方に配布するものが多いので、ORPHISはまちづくり協議会にはなくてはならない機械です。さらにステープル機能・冊子印刷など、ORPHISならではの機能を活用してさまざまな印刷物を作ることにも一役買っています。

カラー印刷でまちの活動を賑やかに

「まち協あさひ」では、地域のイベント開催の告知や活躍している人たちを紹介する記事が多くあるため、写真・イラストなどを多く掲載しています。モノクロ印刷だと、濃淡や文字の大きさだけで見やすさを追求してしまいますが、カラーで印刷することでより活動の様子を明るく、賑やかにお伝えすることが出来ているのではないかと感じています。特に人物写真を掲載する記事では、カラーを用いることで人物の表情等も伝えやすくなり、地域の方からもカラーだと賑やかで見やすいと好評の声をいただいている。特にここ数年の広報誌に関しては、季節の風物詩として朝日地域の草花や滝などの風景写真を掲載することが増えてきていますので、1枚当たりの印刷コストが高くなるコピー機だとなかなかカラー印刷を頻繁に活用するということが正直難しいです。そのためカラーを低成本で印刷できるORPHISはコストの面でもかなり役立っています。使い方に慣れてきたこともあり、広報誌用の設定を「お気に入り」に登録していつでも呼び出せるようにしています。もちろん印刷の初期値はカラーですよ！



地域の活動やコミュニケーションを広めていくために。

まちづくり協議会では、イベントや講演会などを開催することも多く、子どもから高齢者まで幅広い世代の方とコミュニケーションを取る機会も多いです。ここ数年は新型コロナウイルスの関係でイベントなどが延期・中止になっていますが、地域の方たちが広報誌を通じて今地域で起こっていることや活動を理解していただけるように、ORPHISをより活用することで情報発信をし、賑やかで楽しい地域の発展に努めていきたいと考えています。

ジムブレーンさんは機械のトラブル対応以外にも広報誌のデザイン相談や、イメージや要望に沿ったデザインのアドバイスをしていただけるので、今後も「常に新しい広報誌」として情報を発信していくように、ジムブレーンさんとしっかりと連携を組んでより良い広報誌を作っていくらと考えています。

営業担当者の声

カラーを活用して町の活動を伝えると共に、ORPHISの機能を活用して「一手間・一工夫」の印刷をされるとお聞きし大変嬉しいと思っております。



営業担当: 小瀬 健二

今後もお客様の課題解決の為に、そして、お客様の笑顔の為に、価値の提案をしてまいります。

ORPHIS FW5230…スピード: 毎分120枚、コスト: フルカラー1枚1.52円。詳しくはジムブレーンまでお尋ねください。

岐阜県内のJB導入事例はHPにて公開しています。